

小倉記念病院 循環器内科日より

# つなぐ

Vol.3

2015.6月

ほんの三十年くらい前の話です。

医者の中には自らの技術を「秘伝」と称し、限られた者のみに伝えるという

偏狭な考え方をする人もいました。

しかし、それでは良い医療が世に広まらない  
そう考え、技術を公開することにしました。  
すると、多くの見学者が訪れるようになり、  
一九八五年、小倉ライブが誕生したのです。

治療の勉強には、熟練された術者の技術を  
実際に見ることが最も役に立ちます。

なぜなら、そこに医学書だけでは理解できない  
ポイントやコツが多く存在するからです。

患者さんにとって、全国どこでも同じレベルの  
治療が受けられることはとても重要です。

医療に携わる者が、知識と技術でつながついていく  
それが現在、多くの患者さんの命を救うことに  
つながっています。

五月五日より三日間に渡り開催された

小倉ライブは盛況のもと無事終了いたしました。

たくさんのご参加ありがとうございました。





第11回 小倉循環器内科セミナー

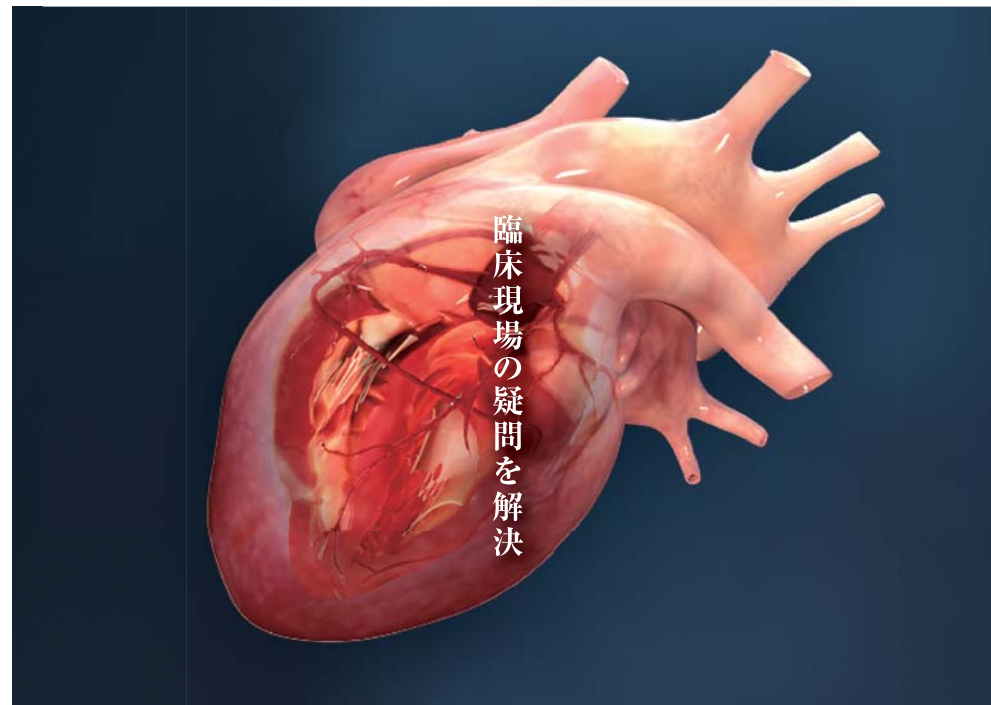
## 難治性不整脈に対する カテーテルアブレーション：現状と展望

参加費  
無料

◎日 時／7月3日(金) 19:00～20:30  
◎場 所／小倉記念病院 4F講堂

福井大学医学部 病態制御医学講座 循環器内科学教室  
教授 茅田 浩先生

カテーテルアブレーションとはカテーテルで不整脈を起こす原因となっている異常な電気興奮の発生箇所を焼き切る治療法です。アブレーション治療用のカテーテルを太ももの付け根から血管を通じて心臓に挿入し、カテーテル先端から高周波電流を流して焼灼することで、不整脈を根治します。



第12回 小倉循環器内科セミナー

## 重症心不全治療の現状と課題

共催／一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 循環器内科 エーザイ株式会社

参加費  
無料

◎日 時／7月13日(月) 19:00～20:30  
◎場 所／小倉記念病院 4F講堂

大阪大学 大学院医学系研究科 循環器内科学教室  
教授 坂田 泰史先生

心臓のポンプ機能が低下することにより、十分な血液を全身に送り出すことができず、十分に酸素や栄養が臓器や細胞に供給されなくなり、全身の臓器機能の低下をきたした状態を心不全といいます。重症心不全とは心機能の低下が極めて高度で、通常の心不全治療を十分に行っても回復が得られないような状態の事をいいます。

参加  
方法

6月30日(火)迄に、同封しておりますセミナー参加申込用紙に、必要事項をご記入の上、  
小倉記念病院 医療連携課までFAXにてご返信ください。医療連携課 FAX.0120-020-027



いつもの暮らしに、いつものあなた

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号

TEL.093-511-2000(代表)